
経済理論 I

(マクロ経済学)

柳原 光芳

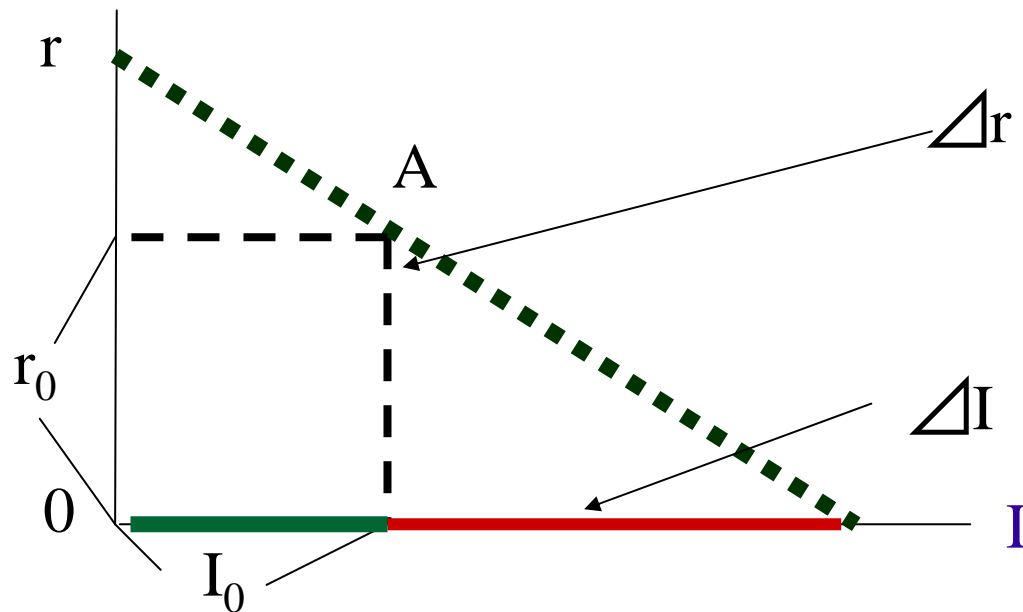
第14回

第9講: IS—LM分析: その2

(第13・16章)

- (準備)弾力性とは？
- IS曲線の形状はどのように決定されるか？
- LM曲線の形状はどのように決定されるか？
- IS曲線のシフトはどのようなときに起こるか？
- LM曲線 // ？

9.0(補足) 弾力性(直線の場合)



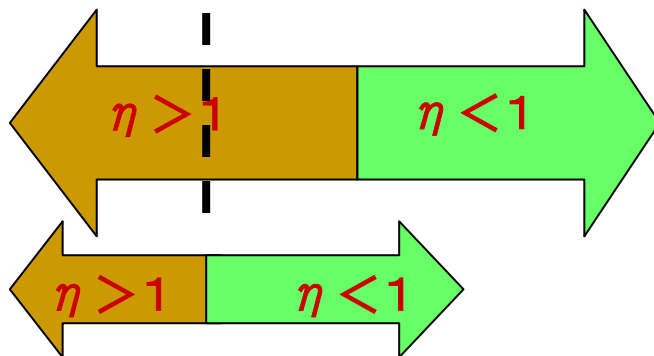
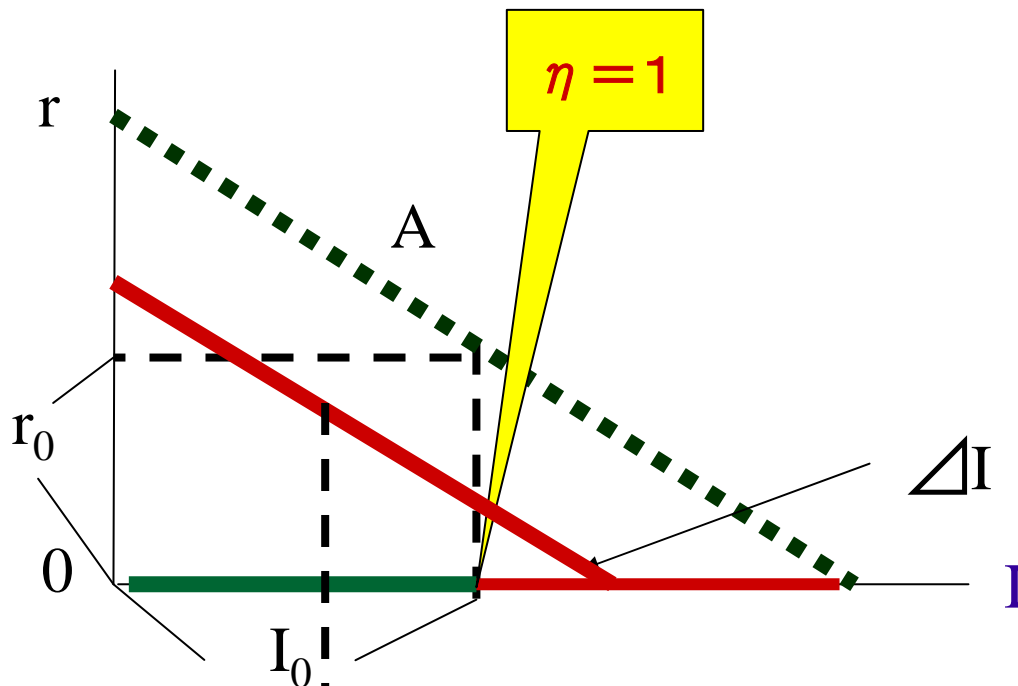
Aにおける投資の利子弾力性(η 「イータ」): $(\Delta I / I) / (\Delta r / r)$

利子率の(1)%変化に対する投資の(1)%変化

$$= (\Delta I / \Delta r) / (I / r)$$

$$= \Delta I / I$$

9. 0(補足) 弾力性(直線の場合)

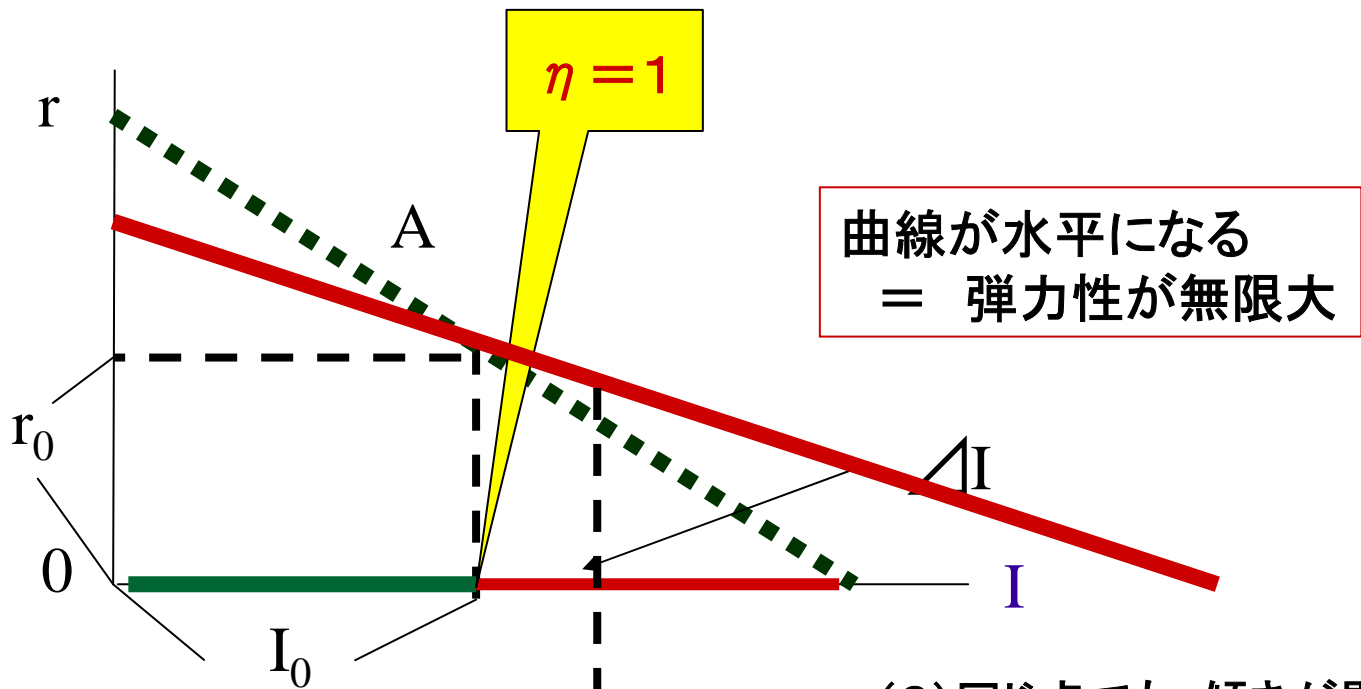


(1) 同じ傾きでも、高さが異なれば弾力性が異なる。

=高いところほど弾力性が大きい

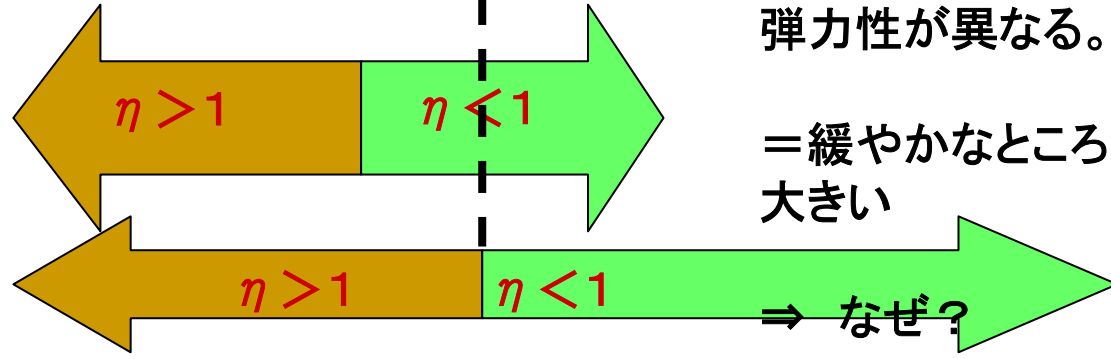
⇒ なぜ？

9.0(補足) 弾力性(直線の場合)



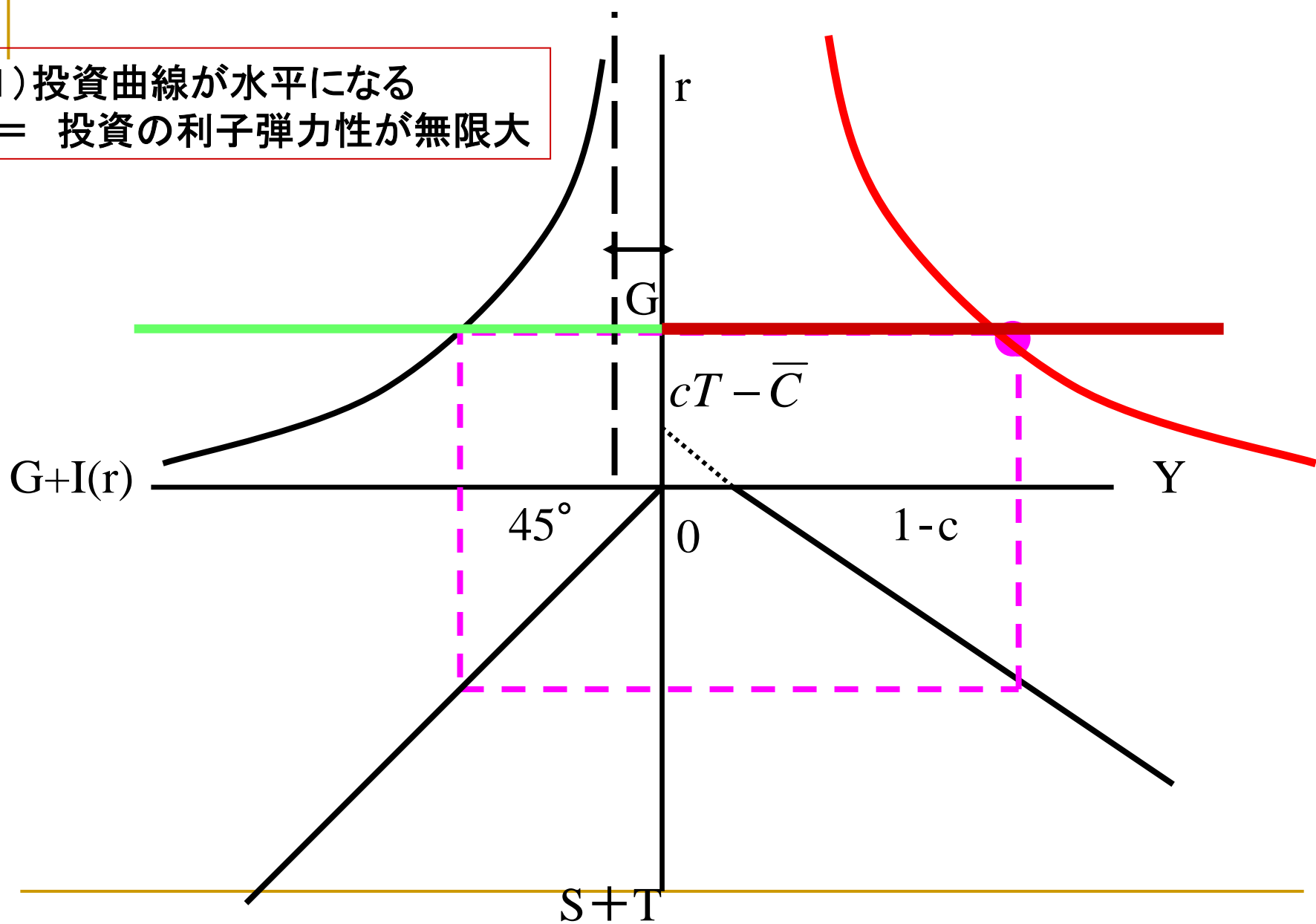
(2) 同じ点でも, 傾きが異なれば弾力性が異なる。

= 緩やかなところほど弾力性が大きい



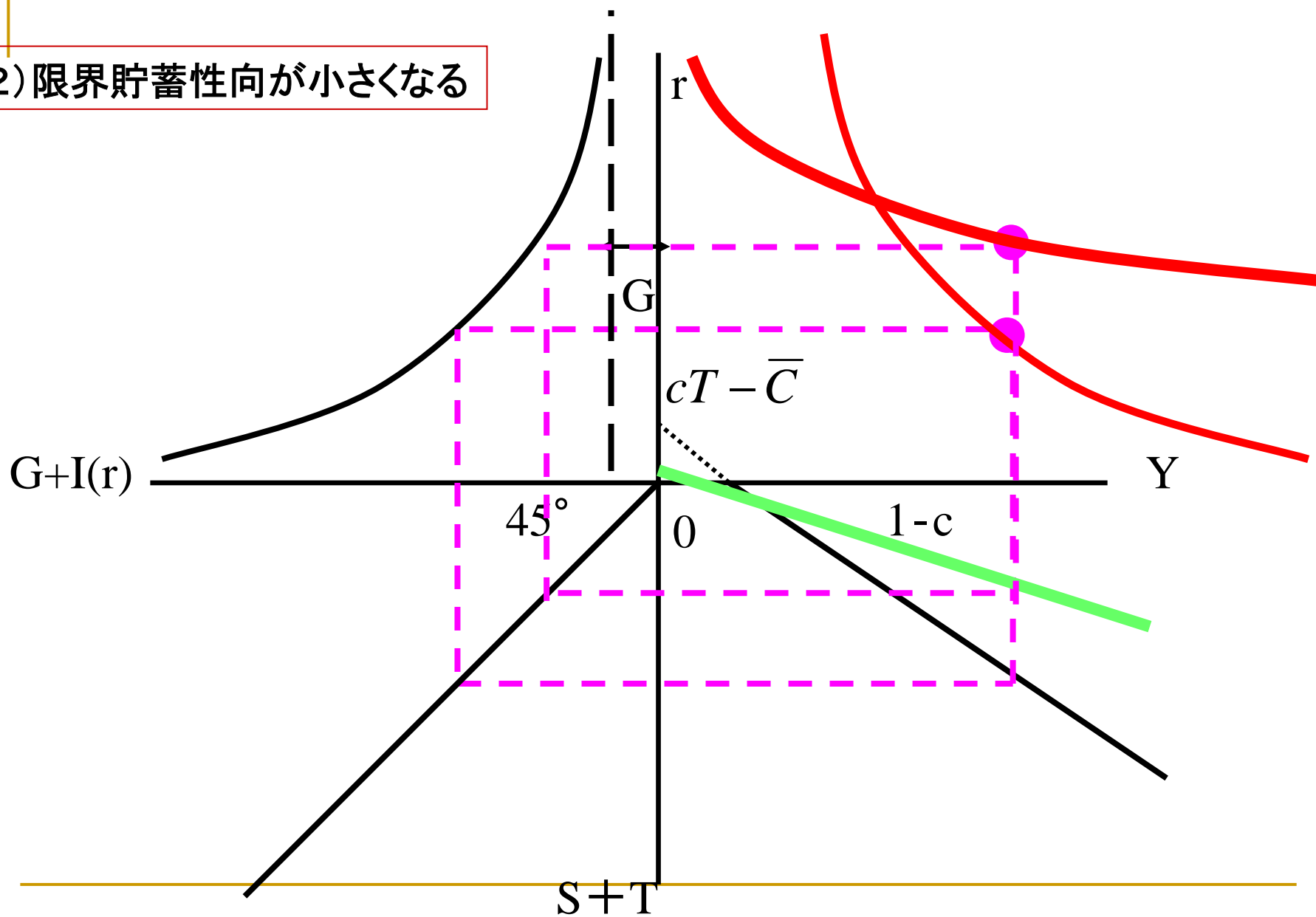
9.1 IS曲線のさまざまな形状

(1) 投資曲線が水平になる
= 投資の利子弾力性が無限大



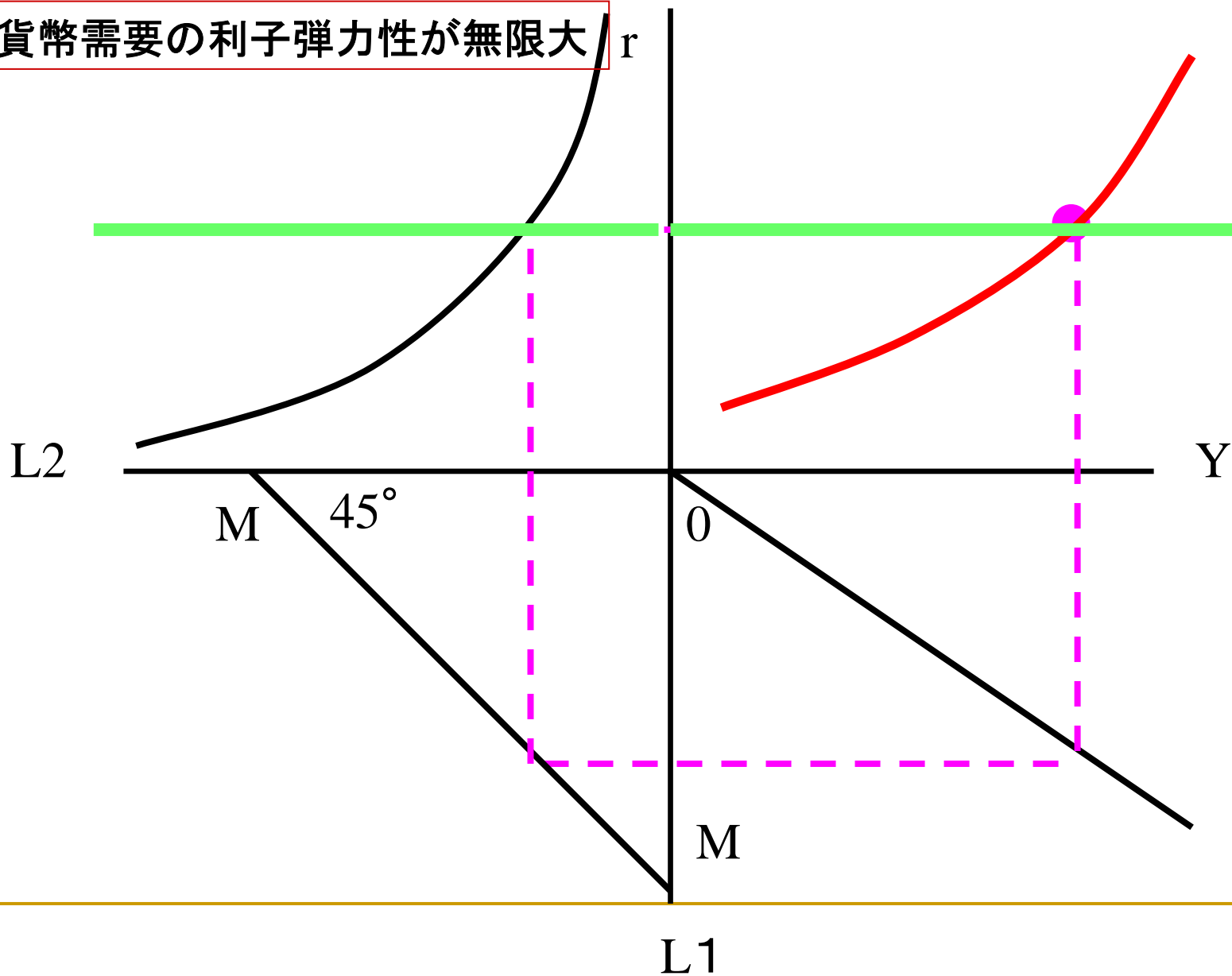
9.1 IS曲線のさまざまな形状

(2) 限界貯蓄性向が小さくなる



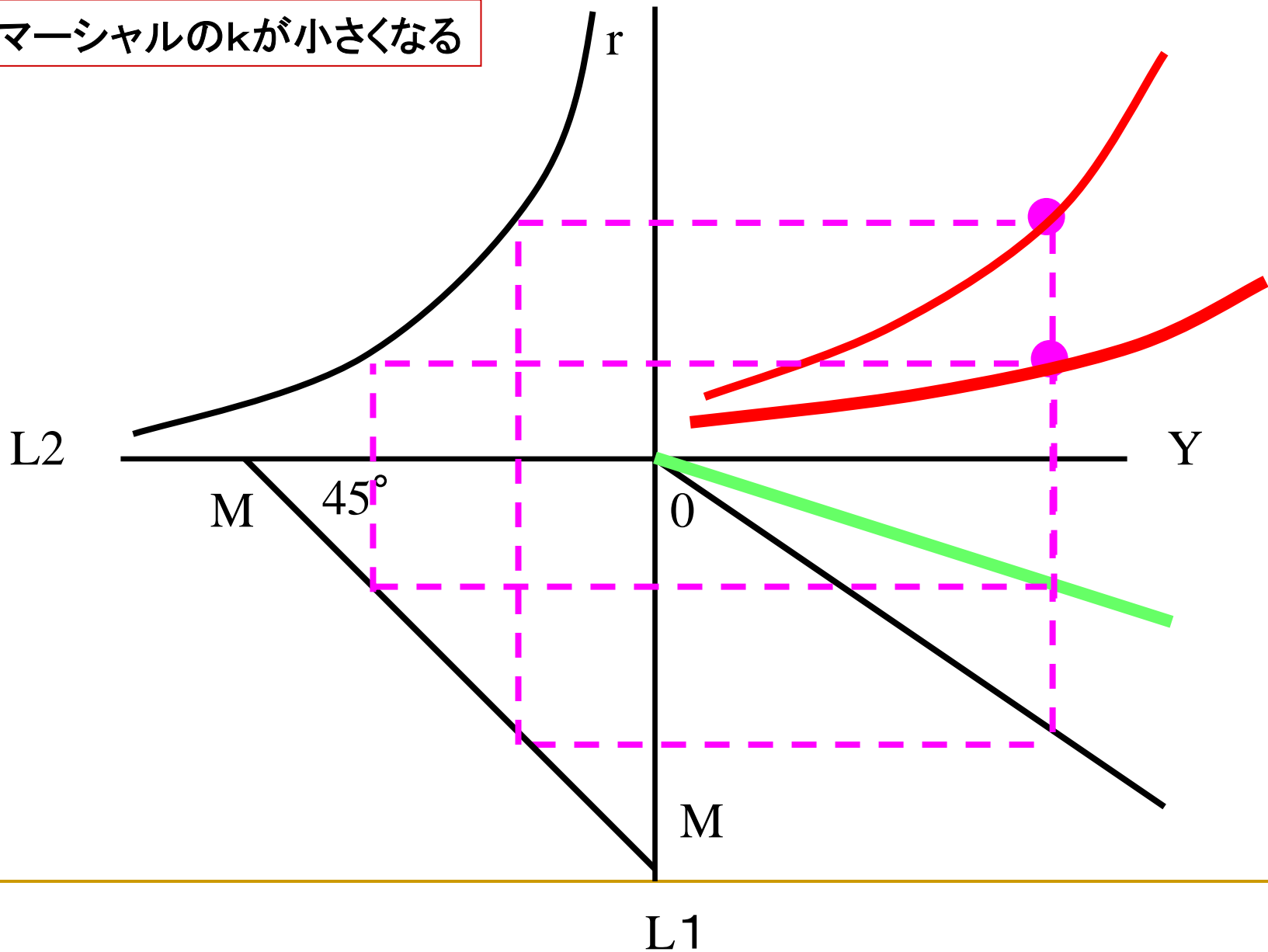
9.2 LM曲線のさまざまな形状

(1) 貨幣需要の利子弾力性が無限大

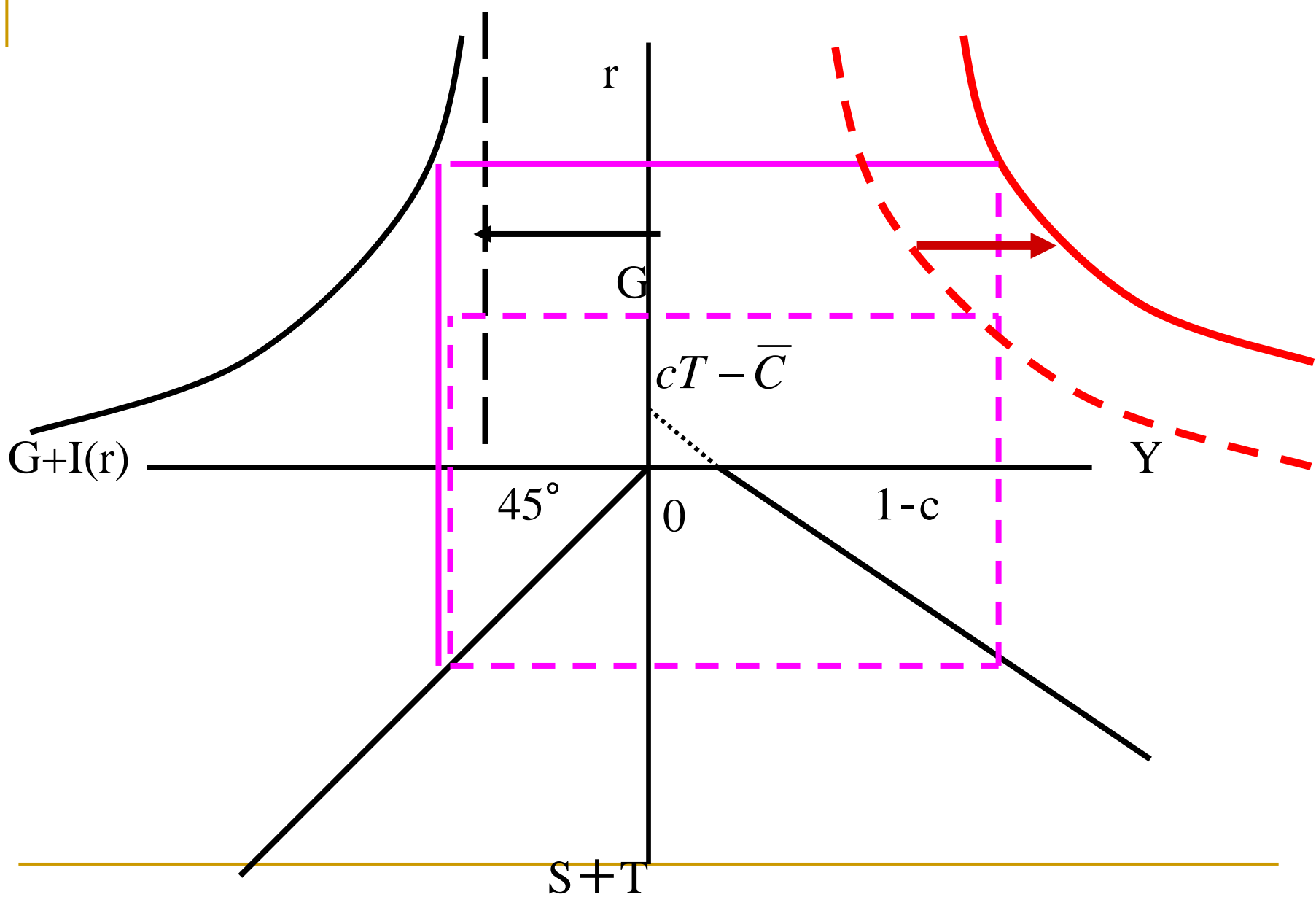


9.2 LM曲線のさまざまな形状

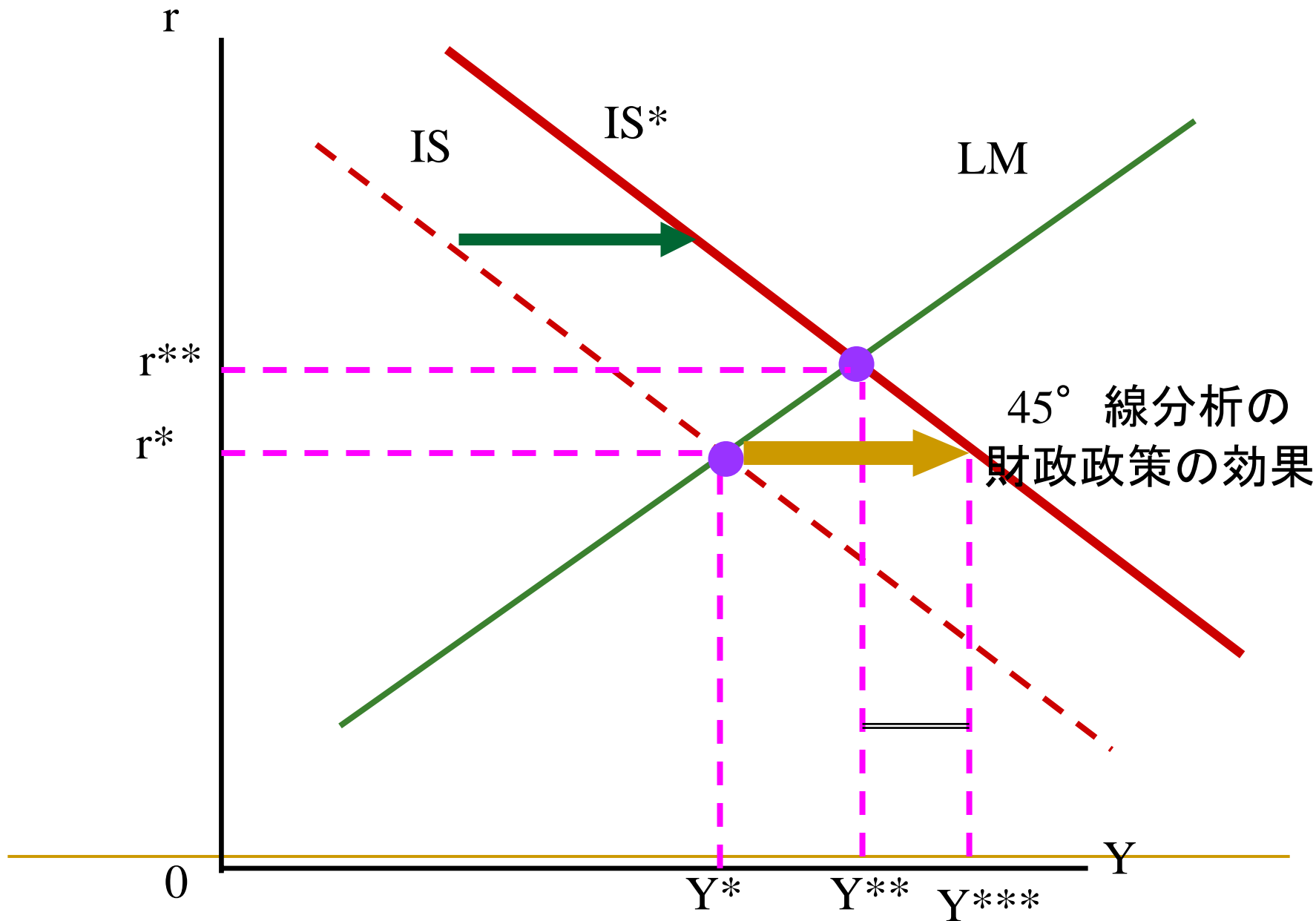
(2) マーシャルのkが小さくなる



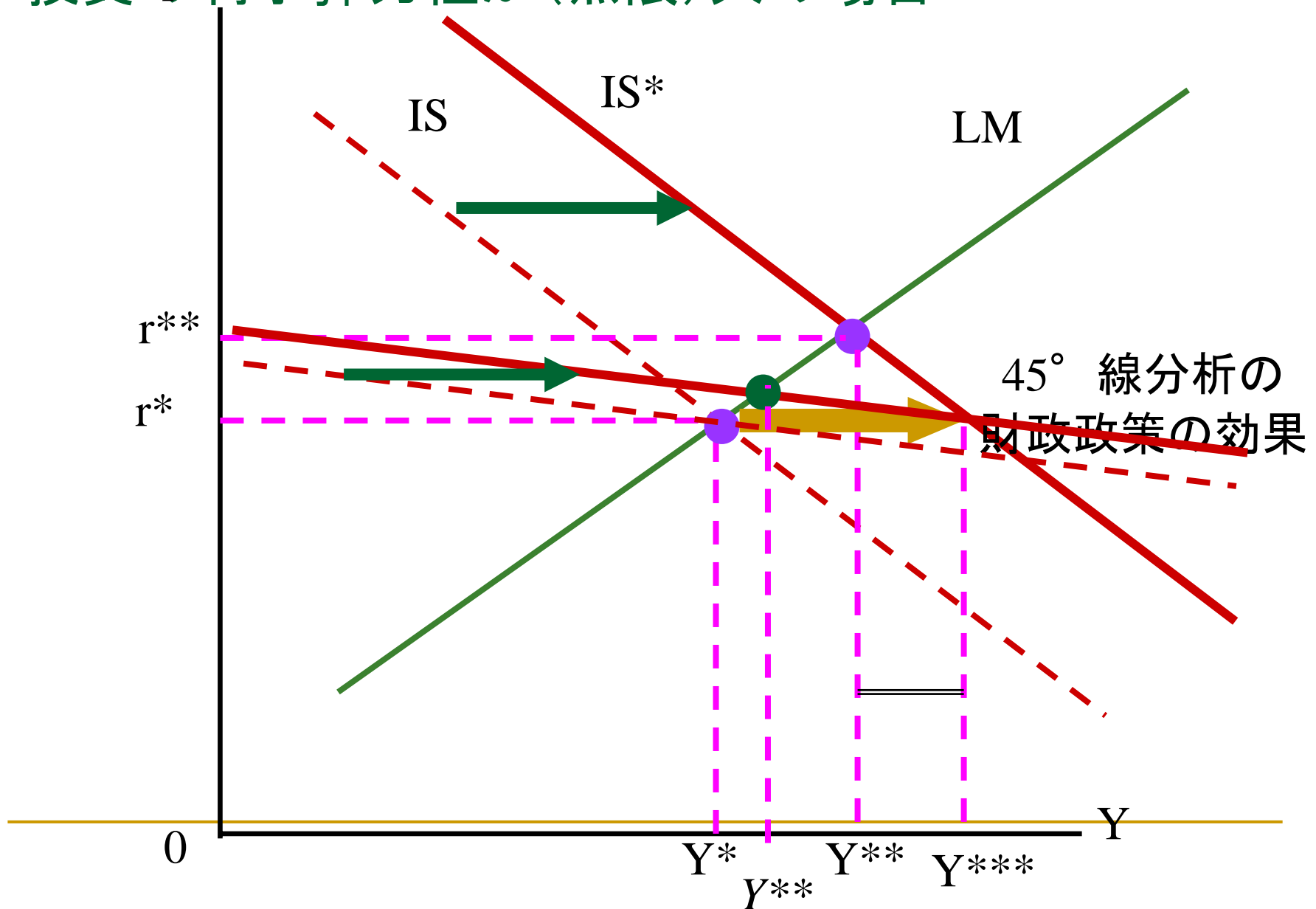
9.3 IS曲線のシフト: 財政政策



9.4 IS曲線のシフト: 財政政策



9.4 補 IS曲線のシフト: 財政政策 投資の利子弾力性が(無限)大の場合



9.5 IS曲線のシフト: 財政政策

■ 財政政策:

- 政府支出 (G) の増加
- 租税 (T) の減少



IS曲線の右方シフト

効果

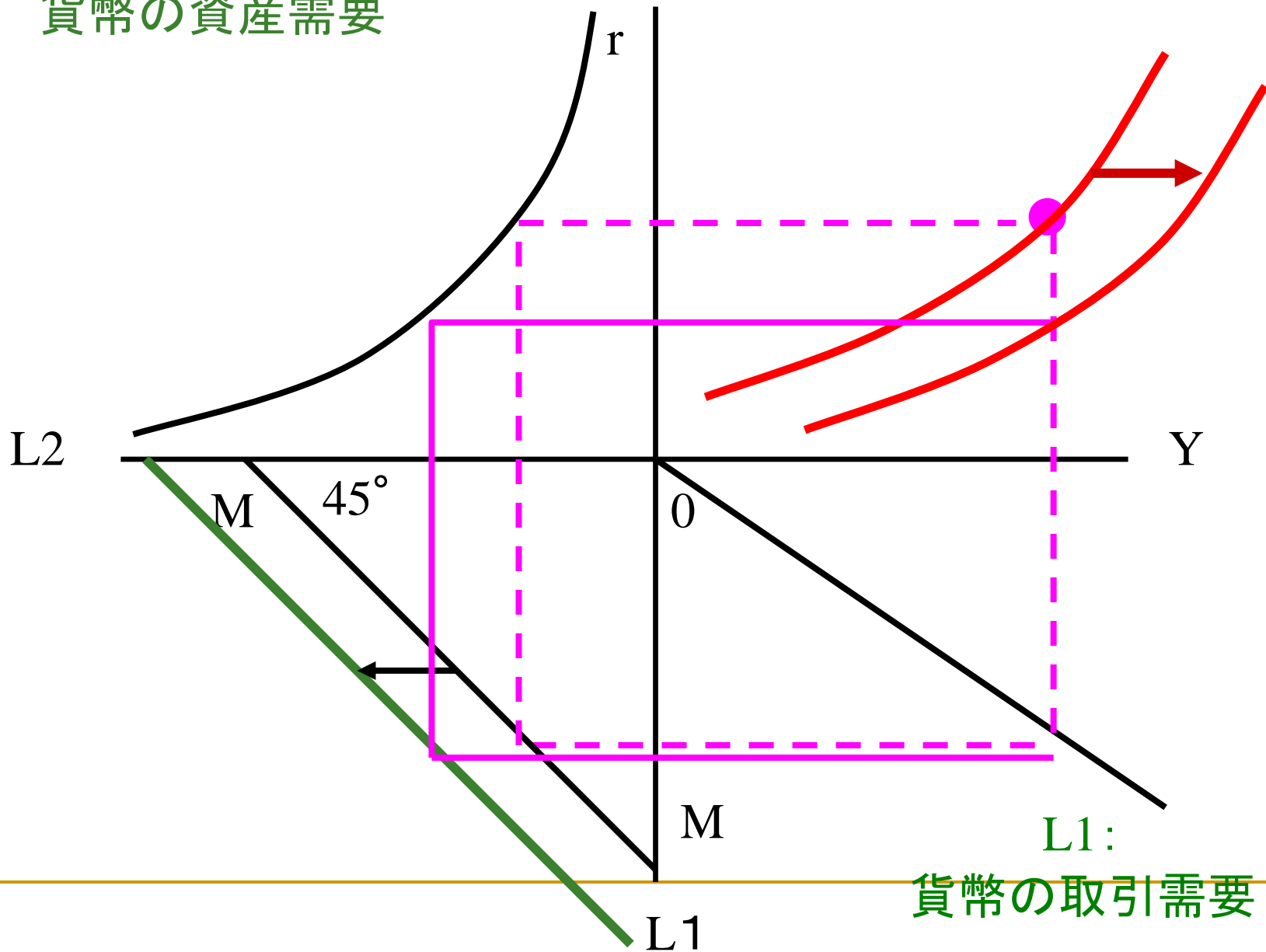
① Y^* の増加

② r^* の上昇 \Rightarrow $I(r)$ の減少 = 「おしのけ」

クラウディング・アウト

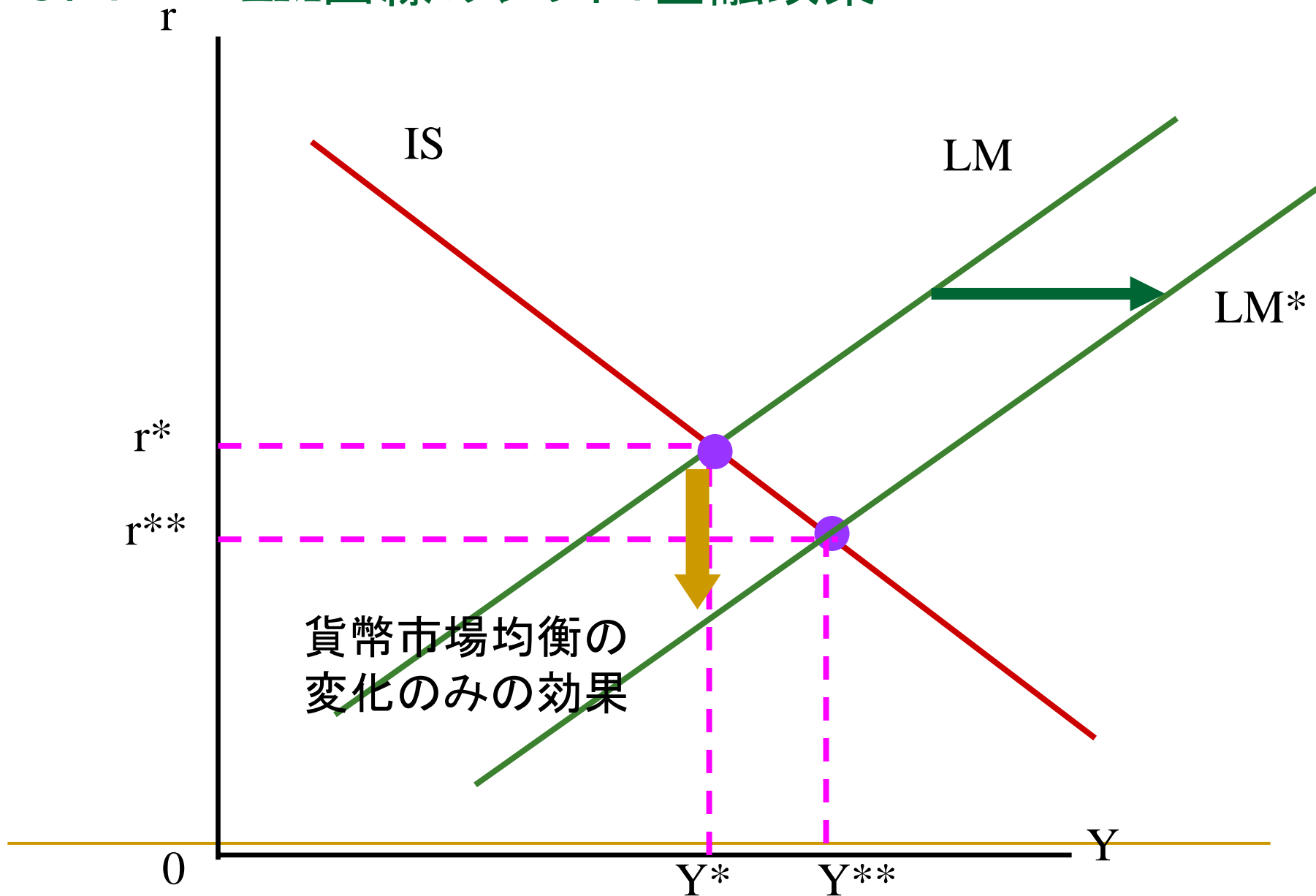
9.6 L_2 : LM曲線のシフト: 金融政策

貨幣の資産需要



L_1 :
貨幣の取引需要

9.7 LM曲線のシフト: 金融政策



9.8 LM曲線のシフト: 金融政策

■ 金融政策:

- マネーサプライ(M)の増加



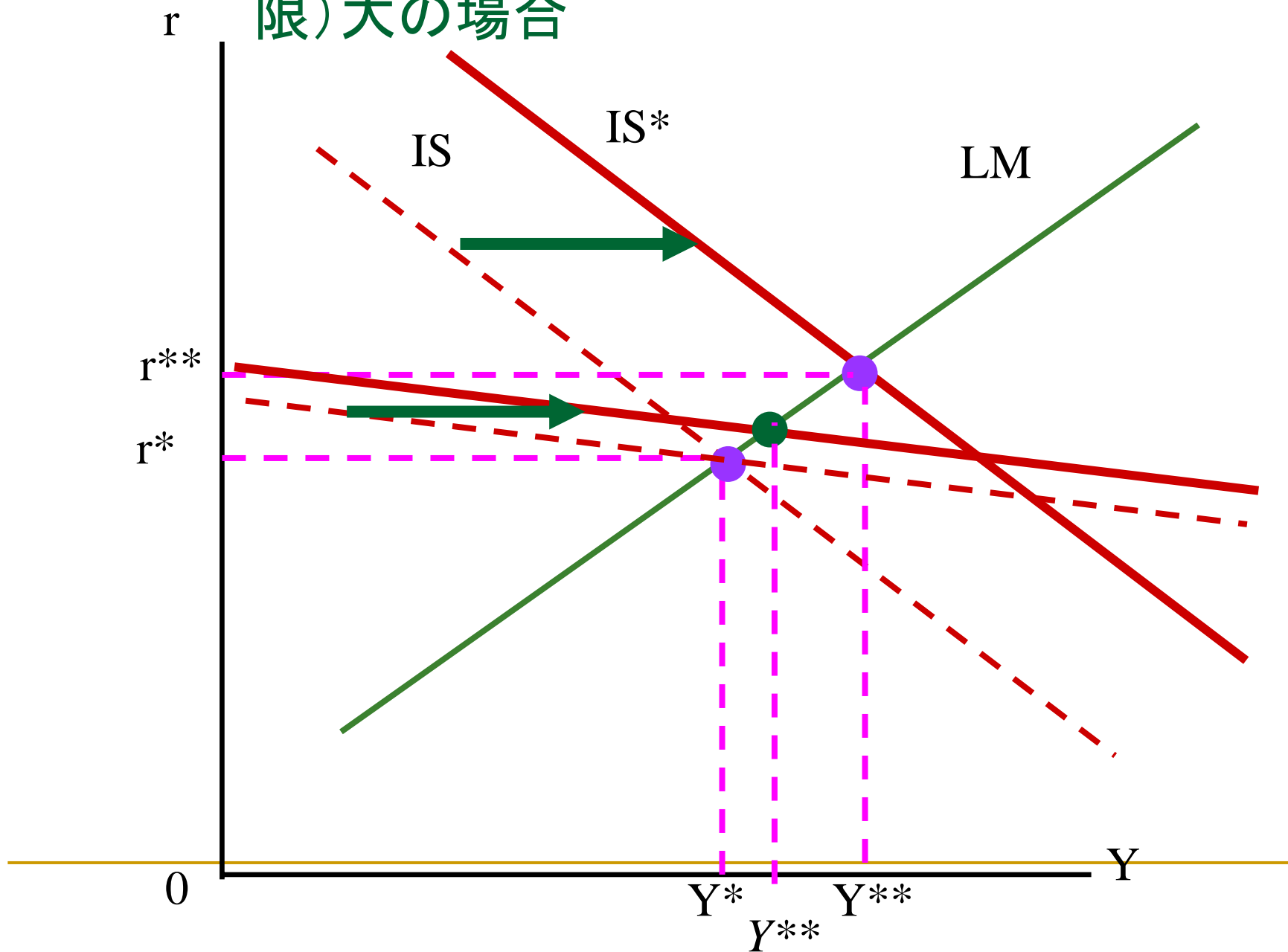
LM曲線の右方シフト

効果

① Y^* の増加

② r^* の低下 \Rightarrow $I(r)$ の増加

9.9 特殊ケース(1) 投資の利子弾力性が(無限)大の場合



9. 10
r

特殊ケース：貨幣の利子弾力性が大きい

